

## 横浜災害ボランティアネットワーク会議

平成 30 年度 第 4 回運営委員会について報告します。

日 時	平成 30 年 9 月 2 0 日(木) 18 : 30 ~ 20 : 15
会 場	横浜市健康福祉総合センター 8 階 8 B 会議室
参加者	ガールスカウト横浜市連絡協議会 : 外山(副代表) ボーイスカウト横浜市連合会 : 中上 南区災害救援ボランティアネットワーク : 高松 港南区災害ボランティアネットワーク : 井出 保土ヶ谷災害ボランティアネットワーク : 川名 磯子区災害ボランティアネットワーク : 森本 金沢区災害ボランティアネットワーク : 深浦 泉区災害ボランティア連絡会 : 乾 (副代表) NPO 法人かながわ 311 ネットワーク : 伊藤 横浜市子ども会連絡協議会 : 福永 青葉区災害ボランティア連絡会 : 小池 オブザーバー : 横浜市市民局市民活動支援課 西島係長・清見 事務局 : 横浜市ボランティアセンター 若林・田村

本日、河西代表は急用のため欠席。司会進行は外山副代表となった。

磯子区災害ボランティアネットワーク 森本さん紹介 (初出席)

### 【報告事項】

#### 1 豪雨災害について

各団体の支援状況の報告

○NPO 法人かながわ 3 1 1 ネットワーク :

- ・倉敷市真備町に 6 便のボランティアバスを派遣。先週で終了した。
- ・ 6 便で合計 1 4 1 名の参加。ボランティアの数がだいぶ減っている。作業は終息には向かっていない。
- ・避難所も継続している状態で、暖かいご飯が食べられない避難所もある。ボランティアに行くと喜ばれたが、復興はまだなのかと逆に悲しくなってしまった
- ・北海道は距離的な問題があり、ボラバス派遣は難しい。

#### 2 県災ボラより :

ボラバスはまだ派遣している。今週末も派遣する予定。運営体制が新しくなり、日数が経っていないため、専門理事会が立ち上がっていない状況。25日に理事会があり、そこでいろいろ決まっていき、本格的に動き始めることになる。

### 3 ブロック別連絡会の報告

A：9月28日開催。西日本豪雨災害被災地派遣の職員の話聞いて意見交換をする予定。

B：10月16日開催。次回の運営委員会で報告。

C：9月2日に防災訓練を実施。保土ヶ谷区の災害ボラセンの立ち上げ訓練に対外的に参加してもらった。雨が降って集まるのが大変だった。そのあとの振り返りができていない。

D：過日、会議を終了し、1月頃にブロック助成を申請し、研修予定。

#### 【議題】

##### 1 市域の連絡会について（検討事項）

日時：平成30年11月12日（月）18時30分から

担当委員：外山さん、中上さん 担当委員候補：山添さん、平井さん

- ・出欠の時に、事前アンケートをとる。団体がどんな活動をしているか、どんなスタンスかなど。
- ・区災ボラ等区域の団体もオブザーバー参加を可能とする。

（意見）市域の団体として市災ボラ支援センターの中での役割があるという話で、団体の特性でサブリーダーになるとしたら、それがわかった前提で意見交換したほうがよいのではないか。災ボラ支援センターそのものの機能が見えないうちに、議論するのはもったいない。事前の情報を整理して、連絡会の時には、例えば「今はこういった状況なので、何ができますか？」といったことを提示した方がよい。

（意見）災ボラ支援センターそのものが役割分担をしているのか？

（事務局）役割分担まで決めきれていない。今回の連絡会では、役割分担に触れられるかどうか。数年ぶりの開催で、この間様々な災害も起こり、団体の活動も変化があると思う。団体自身、何ができるのか？役割分担を話せるところまで行ければよいが、そうならない可能性の方が高く、まずは来てもらってこの団体は何をしている団体なのか、災害時に何ができるのか？を共有していくところからかと思っている。

（意見）組織図自体はわかっているのか？マニュアルがあるだけで、なかなか話が実践的に動いてない。来月、作ったマニュアルを机上でシミュレーションする予定。そこから手直ししていく予定。

（事務局）前回開催より時間が経過しているので、自分達はネットワークの会員だけ？という認識の団体にも来てもらえればと考えている。その場合、ファーストステップとしてのハードルを低く設定する必要があると考えている。

（意見）ハードルが高いと参加しない団体もでてくるかもしれない。顔合わせしたのち、基本的な部分を話し合ったほうがよい。

（意見）市災ボラのスタンスも伝えた方がよい。市災ボラと区災ボラの違いを伝えることも大切。

## 2 支援者向けコーディネートスキルアップ研修会について（検討事項）

日時：1月23日（水）18時30分から

場所：ホールまたは大会議室 AB

内容：講師選定は運営委員の紹介（次回確認）

タイトル未定（次回運営委員会にて）

2月10日に行う立上げシミュレーションの中で、企画書（案）1と2の被災地での支援活動団体の取組みから見えること、を取り上げる。

- ・被災地に支援に入ったからわかる運営側の課題
- ・災害ボランティアセンターを立ち上げたのちの運営の動きなどしたほうがよい
- ・受け入れる側にどれくらい力があるかも大切

## 3 運営委員会へのオブザーバー参加について（承認事項）

都筑区災害ボランティアネットワークの運営委員会オブザーバーについては承認された。

### 【その他】

#### 1 北海道胆振東部地震災害義援金募金活動について

チラシ説明。申込みについては、区災ボラは区社協経由、市域団体は直接市ボラへ。

#### 2 各委員より

（保土ヶ谷災害ボランティアネットワーク）

- ・9月2日市の防災訓練に参加。
- ・10月17日区民祭りに参加予定。
- ・災害ボランティアセンターの立ち上げ仕方について継続的に検討に入っている。

（金沢区災害ボランティアネットワーク）

- ・12月8日にシミュレーション実施予定。地域防災拠点の訓練とタイアップし、防災拠点へのボランティア派遣を予定している。

（港南区災害ボランティアネットワーク）

- ・マニュアルの見直しをやっている。

（ボーイスカウト横浜市連合会）

- ・8月26日（日）、九都県市合同防災訓練に30人くらいが参加。災害募金は各自活動しており、被災県のボーイスカウト連盟や日本赤十字を通じて募金を送っている。

（泉区災害ボランティア連絡会）

- ・9月1日の九都県市合同防災訓練にボーイスカウトとして参加。
- ・10月6日から8日まで、高校生と復興のイベントに参加する予定。
- ・区の災害対策本部を中心に拠点との情報伝達訓練をしており、拠点との連携もうまくいきつつある。防災訓練にもなるべく顔を出して説明するようにしている。

- ・ 9月30日に防災拠点の方、区災ボラに呼びかけてシミュレーション訓練を行う予定。
- ・ 11月3日、区民祭りにボーイスカウトとして参加。

(NPO 法人かながわ 311 ネットワーク)

- ・ 9月第1週にイベントを実施。その中で県内の防災マップや防災タウンページを取り寄せられるだけ展示し、来場者にお持ち帰りしてもらった。来場者にはとても好評だったが、防災マップが防災センターの現物がないことがわかった。一般市民の方々は防災マップの存在を知らない。

(南区災害救援ボランティアネットワーク)

- ・ 8月・9月と防災拠点の運営委員会で連携を呼びかけている。南なんデーなどできるだけ参加して顔の見える関係を作っている。
- ・ 災ボラセンの設置場所の再検討をお願いしている。
- ・ 11月には図書館と区と訓練実施予定。

(青葉区災害ボランティア連絡会)

- ・ Dブロック会議を行い、1月頃にブロック助成金を使って企画する予定。
- ・ 拠点の運営委員会で災ボラの説明をしている。
- ・ 各区の防災地図を集めてどう表現しているか見ている。18区表記がばらばらで災ボラセンターが記載されている区もあるが、記載のない区がほとんど。地図の中に災ボラセンターを書いてほしいと思っている。

(横浜市子ども会連絡協議会)

- ・ 西日本豪雨災害の募金を募っている。各区の各会でそれぞれ活動している。

(磯子区災害ボランティアネットワーク)

- ・ 9月24日に災ボラの設置運営訓練を予定。
- ・ 9月30日いそごまつりに出展予定。

(横浜市市民局市民活動支援課)

- ・ 国の国土強靱化基本計画の具体化するために、強靱化地域計画の素案を策定中。10月12日からパブリックコメントを実施予定。計画の内容は幅広く、災害ボランティアに関する記載もある。この期間中に次回の運営委員会が開かれれば資料提供したい。

(ガールスカウト横浜市連絡協議会)

- ・ 10月14日、発災時の子どもたち心のケアの問題、リーダー研修と一般の方向けを兼ねて実施。ガールスカウトとして何ができるのか？

### 3 事務局より

次回の日程については河西代表と調整し、運営委員の皆さんに連絡する。

終わりの挨拶：乾 副代表